

医療人材の確保・育成の課題 I

- 連合総研・同志社大学 ITEC 共同研究報告書 -

「医療人材の確保・育成に関する研究委員会 I」

- (主 査) 中田 喜文 同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター (ITEC) センター長
同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
- (委 員) 田中 幸子 山形大学医学部看護学科教授
- 藤本 哲史 同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター (ITEC) 副センター長
同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
- 小川 忍 公益社団法人日本看護協会常任理事
- 篠原 國造 ヘルスケア労協事務局長、全済生会労働組合書記長
- 米田 幸夫 経営支援センター松江取締役
前隠岐広域連立隠岐病院副院長

【役職は研究委員会終了時】

連合総研は、持続可能な国民医療システムの構築には、医療財源の安定的確保と並行して、すぐれた医療人材の養成の確保のための施策が不可欠であるという基本認識のもと、2009年2月に同志社大学 ITEC との共同研究として「医療人材の確保・育成に関わる研究委員会 I」を設置し、2010年3月までに計6回開催した。本委員会は、医療人材のとりわけなかでも「看護人材」に焦点をあて、委員からの報告、ITEC 研究者の研究報告に加えて、医師、看護医療研究者から看護師問題に関する研究報告を受けて議論を進めた。議論は、「医療人材」の適切な量と質の確保を阻害する要因や、医療人的資源の確保と適切な配分を可能とする諸施策についての検討を中心に行い、まとめとして2010年9月に報告書を発行した。なお、医療人材全体を射程に入れた検討とその検討結果に基づく政策提言は、「医療人材の確保・育成に関わる研究委員会 II」(ITEC との共同研究) にて行う予定である。

目次

はじめに

【I 部】

全体まとめと課題整理

各委員コメント総括要旨

【II 部】各委員コメントペーパー

看護職の働き続けられる職場づくり

医療人材の育成・確保をめぐる課題 一二つの文書を抛り所に

看護職が働き続けられる職場づくり ーワーク・ライフ・バランスを中心に

中長期的な看護職員の確保に関する一考察

看護職員のディーセントワークを支える医療制度改革を

看護職員需給計画策定に当たって

以上